

# 第1章 計画の策定にあたって

## 1 策定の意義

那覇市は、市民が生涯にわたって学習することができ、その成果が活かされる社会の実現に向けて、2013（平成25）年3月に「那覇市生涯学習推進計画」（以下「推進計画」という。）を策定し、生涯学習の諸施策を推進してきました。

「推進計画」においては、生涯学習の施策の取組みの柱として「協働による生涯学習のまちづくり」「『まなびと実践』によるコミュニティづくり」「県都『なは』の歴史・文化・地域特性を活かしたネットワークづくり」の三つの柱を掲げ、その柱のもとに施策の方針を定めて、それぞれ具体的な方策を展開し生涯学習の推進に努めてきました。

また、「推進計画」策定以前から実施している本市職員による出前講座制度や生涯学習メニューブックの作成・配布等の取組みも、着実に市民の生涯学習支援につながってきています。

しかしながら、「推進計画」の策定以降も、本市を取り巻く社会情勢は、常に変化しており、都市化、少子高齢化、情報化の進展や経済的豊かさの中で、市民は自己の充実・啓発や生活向上のため、多様な学習の機会を求めています。

今後ともこれまでに展開されてきた学習機会の提供や、生涯学習関連施策の一層の充実を図るとともに、市民が学び、学習の成果を活かすことができる社会の実現に向けてまちづくりを進めていくことが重要と考えています。

また、個人の価値観の多様化・複雑化に伴い、市民や地域のニーズも多様化・複雑化してきています。そのような中、市民、NPO、行政等が各々の役割を果たしながらそのニーズに対応し、まちづくりを協働で担っていきこうという動きが本市においてもますます活発化してきており、新たな地域コミュニティのしくみとして、『校区まちづくり協議会』が小学校区を単位に設立されてきています。

このような状況を踏まえ、本市は、「推進計画」の成果と基本的な考え方を引き継ぎ、本市の実情に応じた施策を推進し、「生涯学習のまちづくり」のさらなる発展をめざすため「第2次那覇市生涯学習推進計画」（以下「第2次推進計画」という。）を策定することとしました。

## 2 計画の目的と位置づけ

### (1) 計画の目的

「第2次推進計画」は、市民が生涯にわたって学習することができ、その成果が活かされる社会の実現に向けて、本市の生涯学習推進の基本的な考え方と方向性を示し、関係する施策を体系的・計画的に推進することを目的とします。

### (2) 計画の位置づけ

「第2次推進計画」は、第5次那覇市総合計画、第2次那覇市教育振興基本計画との整合性を図りながら、両計画を補完する計画として位置づけ、生涯学習の施策を推進します。

計画の期間は、2018（平成30）年度から2024（令和6）年度までの7年間とします。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画期間を2年間延長しました。

### 3 那覇市生涯学習推進計画の評価

「推進計画」においては、施策推進のために34の指標とそのめざそう値（目標）を設定しています。

本市では、年度ごとに、各指標におけるめざそう値の達成状況を確認し進捗管理を行ってきました。めざそう値の達成状況については、外部有識者等で組織する「那覇市生涯学習推進協議会」に、その都度報告を行ってきました。

2016（平成28）年度には、2015（平成27）年度終了時の達成状況（進捗状況）を踏まえて34の指標の取り組みの評価を行い、それらをもとに、8つの方針、3つの柱についての総合的な評価を行いました。

評価は、那覇市生涯学習推進計画内部評価委員会が行う内部評価をもとに「那覇市生涯学習推進協議会」が外部評価を行い、評価を決定しました。

各指標の外部評価は、2015（平成27）年度の指標のめざそう値に対して、実績値の達成割合を算出して、達成割合が80%以上はA、達成割合が60%以上80%未満はB、達成割合が60%以下もしくは達成割合が80%以上でも2015（平成27）年度のめざそう値が2011（平成23）年度の現状値を下回るものはCと基準を設けて評価しました。推進計画の34指標の外部評価のうち、評価A（計画通り推進された）の指標は18、評価B（推進された）の指標は2、評価C（改善を要する）の指標は14となっております。

また、方針及び柱の評価について、方針、柱ごとの各指標の評価AからCについて、Aは3点、Bは2点、Cは1点とし、方針、柱ごとの指標の合計点を平均して平均点が2.4以上はA、平均点が1.8以上2.4未満はB、平均点が1.8以下はCと基準を設けて評価しました。

8つの方針で評価A（計画通り推進された）は1、評価B（推進された）は5、評価C（改善を要する）は2となっており、3つの柱はすべて評価B（推進された）という結果になりました。

# 那覇市生涯学習推進計画外部評価一覧

柱	方針	方策	No	指 標 名	主 管 課	外部評価		
						指標の評価	方針の評価	柱の評価
1 協働による生涯学習のまちづくり	① 情報提供プログラムの充実 ② 学習情報の提供・相談の充実	① 地域生活の課題に関する学習プログラムの提供の充実	1	地域生活の課題に関する学習プログラム（学級・講座等）提供数	生涯学習課	C	B	B
			2	環境学習（講座）等の開催数	環境政策課	A		
			3	心のバリアフリー啓発セミナー受講者の意識啓発の割合	福祉政策課	A		
		4	② 学習情報の提供・相談	那覇市生涯学習情報提供システムにおける生涯学習資源の活用館数	生涯学習課	C		
	② 人材育成の充実	① 本市職員研修等の充実	5	生涯学習に関する研修数	生涯学習課	B	A	
			6	社会教育主事講習受講者数	生涯学習課	A		
		7	② 生涯学習に係る自主団体等の発掘・育成・支援	生涯学習事業に係る自主団体等の発掘・育成・支援の数	中央公民館	A		
	③ NPO、企業と連携機関	NPO、高等教育機関、企業とのネットワークづくり	8	協働大使委嘱者数	まちづくり協働推進課	A	B	
			9	本市公民館及び本市立図書館への指定管理者制度導入の館数	生涯学習課	A		
			10	商店街事務連絡会の開催数及び運営の充実	なはまちなか振興課	C		
			11	なは女性センター利用者数	平和交流・男女参画課	C		
			12	那覇市食生活改善推進員協議会が開催した教室等の数	健康増進課	A		
12			那覇市食生活改善推進員協議会が開催した教室等の数	健康増進課	A			
柱	方針	方策	No	指 標 名	主 管 課	外部評価		
2 「まなびと実践」によるコミュニティづくり	① 学校区域を コミュニティづくり	① 総合的な学校開放の推進	13	学校施設開放運営委員会設置数及び地域学校連携施設利用者数	生涯学習課	C	C	B
			14	学校体育施設開放の利用者数	市民スポーツ課	C		
		15	② 新たな地域自治のしくみづくり	モデル地区のまちづくり協議会の運営の充実	まちづくり協働推進課	A		
	① 家庭教育力の充実	① 家庭教育力の充実	16	ブックスタート事業参加率	生涯学習課	A	B	
			17	乳幼児学級・家庭教育学級・親子ふれあい教室の参加者の満足度	中央公民館	A		
			18	地域子育て支援拠点施設数及び利用者数	こどもみらい課	A		
			19	“那覇市PTA連合会リーダー研修会”の開催数	生涯学習課	A		
			20	放課後子ども教室実施校区数・教室数	青少年育成課	C		
	② 地域教育力の充実	② 地域教育力の充実	21	“やる気・元気旗頭フェスタ in なは”の参加児童生徒数	青少年育成課	C		
			22	市子連との「課題検討会議」数	青少年育成課	A		
			23	「若者自立支援サポーター育成講座」の数	生涯学習課	C		
	③ 児童生徒の ための・若者の 自立 充実	児童生徒・若者の自立支援のための人材育成と連携	24	「地域若者サポートステーションなは」等との連携に関する調整会議の開催数	生涯学習課	A	B	
25			小中学生が参加できる講座等の件数	中央公民館	A			
26			那覇市児童生徒県外交流事業参加者数	青少年育成課	B			
26			那覇市児童生徒県外交流事業参加者数	青少年育成課	B			
柱	方針	方策	No	指 標 名	主 管 課	外部評価		
3 県都「なは」ネットワークづくり	① 歴史を 生かした文化 資源	歴史・文化資源等を生かした事業の充実	27	文化財展示会・解説会の観覧者数	文化財課	A	C	B
			28	歴史・文化講座（首里大学）の受講者数	博物館	C		
			29	出前子ども博物館の講座数	博物館	C		
	② 市民との 協働による ネットワーク づくり	市民との協働による歴史・文化資源等を生かしたネットワークづくり	30	史跡めぐり案内講師「案内親方」・識名園ボランティアガイド「識名里生」の利用回数	文化財課	C		
			31	地域団体及び重屋焼物博物館友の会との共催事業数	博物館	C		
			32	那覇まちま〜いガイド利用者数	観光課	A		
			33	那覇市青年団体連絡会との調整会議の開催数	青少年育成課	C		
34	“那覇市婦人連合会芸能大会”への参加婦人会数	生涯学習課	A					